

# 高原図鑑

PLATEAU PICTORIAL BOOK



写真：一面に発生したイヌセンボンタケ（撮影：令和2年11月24日）

## 「イヌセンボンタケ」

イヌセンボンタケ *Coprinellus disseminatus* ナヨタケ科 キララタケ属

千本、万本と発生

秋の訪れ、気温が下がり、霧島山は紅葉の季節到来。気温の急激な変化は、植物以外の生き物にも刺激を与えます。秋といえば紅葉、そしてキノコの季節。森の中、見上げれば色とりどりの葉。鮮やかに染まったハイキングコース。その中に真っ白な木を見つけました。近づいてみると、枯れ木にびっしりと発生したキノコ「イヌセンボンタケ」でした。

漢字で「犬千本茸」と書きますが、昔は、「犬」という言葉が役に立たないという意味で使われたそう。そして、あまりにたくさん発生するため「千本」となったようです。実際には、千本どころではなく、万本くらい発生していることもあります。枯れ木を分解し土に戻してくれる「森のお掃除屋さん」として重要な役割を持っています。一つ一つはわずか1cmほど。触れてみるとすぐに崩れてしまいます。もし見つけたら、ぜひ、近寄って観察してみてください。広い森の中、ミクロの素晴らしい世界が見れるかもしれません。

（文）えびのエコミュージアムセンター

霧島山の  
めぐりめぐり  
えびの  
山と水、米と肉、温泉と四季のまち。



えびの市  
LINE公式アカウント



えびの市広報  
Facebook



「マチイロ」  
マチを好きになるアプリ

※ QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。